

福山市

安心と希望のための挑戦予算
～地域の創生に向けて～

2025年度（令和7年度）
重点政策



はじめに

福山のばらのまちづくりは、約70年前に市民が植えた約1,000本のばらから始まりました。そして、本年5月には、本市初の本格的な国際会議である「世界バラ会議福山大会」とローズガーデンやマルシェが楽しめる「Rose Expo」がいよいよ開催されます。今、市民の思いが大きく花開こうとしています。また、毎年福山を盛り上げる「福山ばら祭」と「ばらのまち福山国際音楽祭」もそれに加わり、ばらのまちを華やかに彩ります。ばらの魅力で国内外の人をひき付け、国際都市へと飛躍する足掛かりとします。

引き続き市政を担わせていただくに当たり、地域を巡る中で、多くの市民の方から「自分たちの地域を元気にしてほしい」という声をうかがいました。人口減少下にあっても都市の活力はなんとしても維持していかなければなりません。

このため、新年度は、戦略的な地域の拠点づくりに注力していきます。また、福山ネウボラを更に強化するとともに、高齢者の社会参加を促進することで、こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会の実現をめざします。そして、これまで「5つの挑戦」によって築き上げてきた都市基盤の上に立って、市民生活を支える産業や道路・港湾などの都市機能の更なる強化のほか、防災や防犯など安心・安全な生活環境の整備にも継続して取り組んでまいります。

心新たに、「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本に、地域の創生に向けた新たな「5つの挑戦」に全力で取り組んでまいります。

2025年(令和7年)2月 福山市長 枝広 直幹



目次



I	重点政策の全体像(3つの柱)	1
II	3つの柱に位置付く施策	2
	1 戦略的な地域の拠点づくり	2
	2 こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会づくり	5
	3 都市の発展を支える基盤づくり	13
III	分野横断的に推進する取組	24
	1 備後圏域の連携強化	24
	2 デジタル化の推進	25

I 重点政策の全体像(3つの柱)

当初予算額:約367億円

※2024年度:約231億円

【一般会計分:約201億円(政策経費の約47%)】

※2024年度:約158億円(約41%)

2024年度3月補正予算前倒し分の約21億円を加えた実質的な予算額は約388億円

「都市」と「人」が輝く未来の地域創生 ～3つの柱～

【 】:当初予算額

1 戦略的な地域の拠点づくり 【約32億円】



魅力とにぎわいの創出に向け、地域の拠点づくりに取り組む。

2 こども・若者・高齢者が 笑顔で暮らせる社会づくり【約109億円】



ネウボラセンターを核としたこども・若者支援と、人生100年時代の高齢者支援の充実に取り組む。

3 都市の発展を支える基盤づくり【約226億円】

都市の活力と市民生活の安心・安全を支える基盤づくりを着実に前進させる。



備後圏域の連携強化

デジタル化の推進

II 3つの柱に位置付く施策

1 戦略的な地域の拠点づくり

当初予算額:3,228,938千円

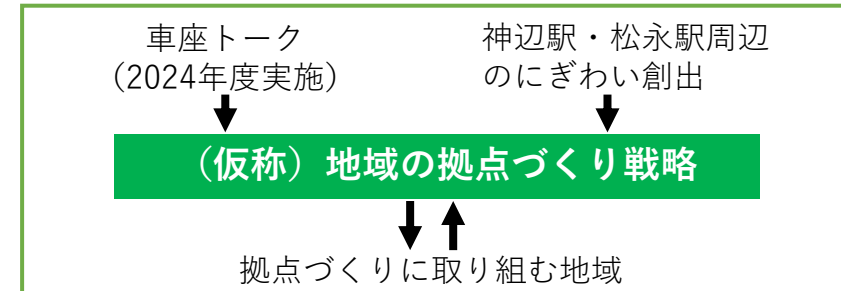
【一般会計分:2,498,159千円】
（国の補正予算に伴う前倒し分:約1億円）

(1) 地域の特色を生かした魅力とにぎわいの創出

当初予算額:1,442,664千円

① (仮称)地域の拠点づくり戦略の策定

- 地域の特色を生かした拠点づくりを効果的に推進
- 拠点づくりに取り組む地域の意見を戦略に反映



② 拠点づくりの候補となる事例

北部地域

- 吉備津神社本殿の国宝化に向けた取組
- かわまち広場の整備に向けた検討
- 駅家公園の活用に向けた検討
- 砂留の国の文化財登録制度への登録に向けた調査
- 民間活力による山野小学校跡地の利活用



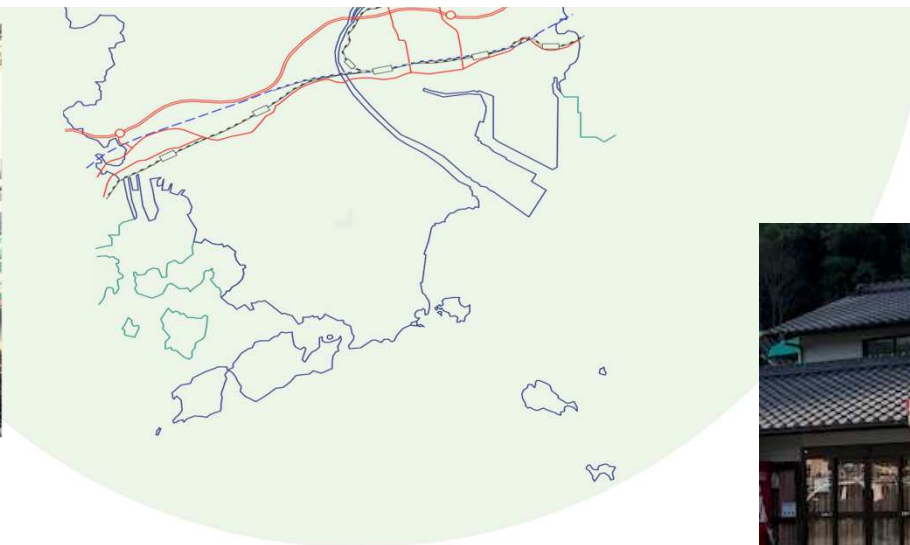
全域

- 福山市の文化財登録制度の創設
- 地域が主体となった魅力ある公園づくり

神辺地域

- 神辺駅周辺のにぎわい創出
- 神辺駅西側の基盤整備
- 湯田複合化施設の整備（基本設計等）
- 廉塾の保存整備





松永地域

- 松永駅周辺のにぎわい創出
- 松永駅北口の再生
- 民間活力による旧東村小学校の利活用



地域をつなぐ取組

- バス共創プラットフォームを通じた公共交通の再構築【再掲】

南部地域

- 道の駅アリストぬまくまの再整備
(基本計画策定)
- 町の浦しおまち海道
サイクリングロードの利用促進
- 町地区東西交通・交流拠点の整備
- 仙酔島の魅力創出
- 海洋環境の改善
- 沼名前神社能舞台の国宝化に向けた取組
- 民間活力による旧内海中学校の利活用

陸の道構想の
推進

海の道構想の
推進

(2) 持続可能なコミュニティづくり

当初予算額:1,786,274千円

① 地域活動の活性化支援

- (仮称) まちづくり支援拠点施設の整備 (2026年度供用開始予定)
 - ・ 多世代、多様な主体の交流・連携の促進
- 新たな担い手の育成・確保
 - ・ 地域づくり塾によるリーダーの育成
 - ・ まちづくりパスポート事業による地域活動への参加促進
- 地域の主体的な活動の促進
 - ・ ④地域が主体となった魅力ある公園づくり【再掲】
 - ・ 交流館の計画的な整備
 - ・ 市民活動のスタートアップ支援



(仮称) まちづくり支援拠点施設完成イメージ

② 多文化共生の推進

- 日本語の学習機会の充実
 - ・ ④外国人市民のニーズに沿った日本語学習の在り方検討
 - ・ ④(仮称) 外国人材活躍推進協議会の設立【再掲】
 - ・ ④外国人児童生徒向け日本語初期指導教室の開設【再掲】
- 生活支援体制の充実
 - ・ ④窓口用字幕表示パネルの試験導入
(音声認識・翻訳し、内容をパネルに表示)
 - ・ ④外国人市民向け多言語防災講座の実施【再掲】
 - ・ ふくやま多言語サポーターの養成(子育て、防災)



ふくやま子育て多言語サポーター養成講座

2 こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会づくり

当初予算額:10,878,770千円

【一般会計分:10,579,556千円】
(国の補正予算に伴う前倒し分:約2億円)

(1) 福山ネウボラの更なる強化

当初予算額:7,916,329千円

① ネウボラセンターの開設

オープン
(2025年8月～)

相談・手続のワンストップ化 (2026年4月～)

相談

○ 子育て・若者の相談機能を集約 ☆1

- ・ 「あのね」による妊娠期から子育て期までの相談
- ・ 不登校やひきこもりの相談 など

手続

○ オンラインを活用した手続の受付 ☆2

- ・ 広域予防接種券の申請
- ・ 就学援助費 (入学準備費) など

居場所・交流

○ こどもの遊び場等の充実 ☆3

- ・ 年齢別のゾーニングと遊具の設置
- ・ 親同士で交流できるスペースの確保

○ ワンストップ総合窓口の開設 ☆4

- ・ 各分野の相談に関する専門職員を配置 (保健、教育、福祉)
- ・ 新たに窓口担当職員を配置し、保育施設や放課後児童クラブの入所申込みなどに対応

○ 若者の居場所や交流の場の設置 ☆5

- ・ 多目的スペースの設置 (学習支援や自主活動の促進)
- ・ 保護者や支援団体の交流 など

総合的にこども・子育て・若者を支援



Point

✓ 土日祝日の対応が可能 (☆1～3)

✓ オンライン活用により、市民の負担を軽減 (☆2)

✓ 屋内の遊び場が充実 (☆3)

✓ 多職種による迅速で的確な支援 (☆4)

✓ 若者も立ち寄りやすい (☆5)

② 保育サービス・医療提供体制の充実

○ 経済的負担の軽減

- ・ 第2子以降の保育料無償化
- ・ 保育施設等の給食材料費高騰に伴う保護者負担増の抑制

○ 保育サービスの充実

- ・ 湯田複合化施設の整備（基本設計等）【再掲】
（保育所、幼稚園、交流館、老人福祉センターの複合化）
- ・ 保育士の配置基準見直しによる体制強化
- ・ こども誰でも通園制度の拡大
- ・ 保育施設の広域利用の実施
- ・ 専属コーディネーターによる保育士の復職支援
- ・ ベビーシッター派遣型の病児・病後児保育の拡充検討
- ・ （仮称）あけぼのこども園の整備
（実施設計等、2027年度整備完了予定）
- ・ 保育施設等への移動図書館車「わくわく号」の訪問

○ 医療提供体制の確保

- ・ 小児救急・周産期医療体制の確保（寄付講座の実施）
- ・ 周産期母子医療センター開設に向けた医療機器等整備（福山市民病院）
- ・ こども発達支援センターにおける児童精神科の受入体制強化



移動図書館車



こども発達支援センター

③ 多様なニーズに応える子育て支援の充実

- 〓こども未来づくり基金の設置
 - ・子育てしやすい・したいと思えるまちの実現に向けた施策の推進
- 〓こども未来づくり100人委員会提案事業の推進
 - ・市民の声を届け、提案事業の磨き上げを支援
- 地域での交流機会の充実
 - ・ 〓交流館へ屋内キッズスペースを試行的に設置
 - ・ こども食堂等の運営支援の強化
(こどもの遊び場等を補助対象に追加)
- 医療的ケア児への支援
 - ・ 看護師同乗による通学支援の強化
- デジタル化による負担軽減
 - ・ 相談予約や手順のオンライン化の拡大



こども未来づくり100人委員会

④ 少子化対策の拡充

- 出会いと結婚を希望する人へのサポート
 - ・ 趣味や仕事等を通じた出会いの場の創出
 - ・ カップル・新婚夫婦が市内協賛店で特典を受けられるパスポートの発行
- 経済的負担の軽減
 - ・ 不妊・不育症の治療費の支援
- 子育てにやさしい社会の機運醸成
 - ・ 子育て応援ウィークによる共働き・共育での機運醸成
- 働き方改革による共働き・共育での推進
 - ・ 〓ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの実施
(先進的な取組の紹介など)
 - ・ 男性の育児休業取得を推進した企業への奨励金の支給【再掲】
 - ・ グリーンな企業プラットフォームを通じた働きやすい職場環境づくりの促進【再掲】



子育て応援ウィーク

(2) 個性や能力を伸ばす教育の実現

当初予算額:1,030,281千円

① 確かな学力を育む学校教育の推進

○ 学力向上プロジェクト

- ・ ④学力定着状況調査の実施
- ・ ④問題データベースを活用した学習支援
- ・ 学びづくりフロンティア校事業の実施
(こどもの学ぶ過程に沿った探究的な教育課程の編成・実施)
- ・ 教科の専門性パワーアップ事業
(こども・教材への理解を深める教材研究・授業実践)

○ 学びを支える教育環境の充実

- ・ ④望ましい学校教育環境の整備に向けた基本方針の策定
- ・ ④手城小学校校舎改築（設計等、2029年度供用開始予定）
(小学校、放課後児童クラブ、交流館の複合化)
- ・ コミュニティ・スクール実施校の拡大
(学校・家庭・地域の協働による学校づくり)

○ 教職員の働き方改革の推進

- ・ ④給食費公会計化による業務負担軽減
- ・ ④デジタル化による採点業務の効率化
- ・ 統合型校務支援システムによる成績管理等業務の効率化



常金丸小学校と交流館が一体となった複合施設

② 多様な学びの提供

○ 外国人児童生徒への支援

- ・ 外国人児童生徒向け日本語初期指導教室の開設

○ 不登校児童生徒への支援

- ・ メタバースを活用した不登校児童生徒への支援
- ・ 自然環境を生かしたフリースクール「おやまの学校」の月1回の定期開催

○ こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実

- ・ 学校への巡回演奏会の実施（管弦楽四重奏など）
- ・ 小・中学生を芸術文化施設・イベントに招待
小学4年生：ふくやま美術館、小学5年生：ばらのまち福山国際音楽祭
中学2年生：オーケストラ福山定期

○ 国際交流の促進

- ・ リトアニアとの万博国際交流プログラムの実施
- ・ 海外語学研修や姉妹校との国際交流によるグローバル人材の育成

③ 子ども未来館プロジェクトの推進

○ （仮称）子ども未来館の整備

- ・ 事業者の選定（2029年度供用開始予定）
- ・ 大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」誘致の検討

○ 先端技術の体験機会の提供

- ・ びんごキッズラボの実施



フリースクール「おやまの学校」



（仮称）子ども未来館のイメージ

(3) 未来を創造する若者の活躍促進

当初予算額:1,297,868千円

① 福山暮らしの魅力発信

- 福山での暮らしや仕事を考える機会の充実
 - ・ 高校生や大学生を対象としたライフ&キャリアセミナーの実施
- 移住支援・関係人口の創出
 - ・ SNS移住オンラインコミュニティによる移住相談
 - ・ 移住希望者等の空き家リノベーション支援
 - ・ 備後圏域のポータルサイト「びんごライフ」による暮らしのイメージや魅力の発信



大学生と社会人の交流イベント

② 福山市立大学の学部新設

- 情報工学部の新設に向けた取組
 - ・ 新棟建設工事に着手
 - ・ 学部設置認可申請

企業等の即戦力となり、
福山の未来を開拓できるエンジニアを養成



福山市立大学新棟完成イメージ

③ 地元就職支援

○ 地元企業とのマッチング支援の充実

- ・ ④ インターン等が受入れ可能な企業の情報発信の強化
(専用サイトによる発信)
- ・ 企業のインターンシップに要する経費の支援
- ・ 高校生及び保護者向けの企業・職業説明会の実施
- ・ 看護師確保に向けた小・中学生向けの看護体験や高校生向けの進路相談会の実施【再掲】

○ U I J ターンの促進

- ・ ④ U I J ターン就職の促進に向けた学生の就職活動費の支援
- ・ 保育士やデジタル人材等の確保に向けた奨学ローンの返済支援



高校生及び保護者向けの企業・職業説明会

④ チャレンジを応援する環境づくり

○ ④ (仮称) ふくやま未来大賞の創設準備

- ・ 本市にゆかりのある若者の革新的・先駆的な取組を発掘・審査・表彰し、ロールモデルを発信

○ こども・若者の挑戦機会の創出

- ・ 福山夢・未来開花プロジェクトの実施(夢の実現に向けた挑戦を支援)
- ・ 地域課題解決のためのビジネスコンテストの実施



夢・未来開花プロジェクト

(4) 人生100年時代の高齢者支援の充実

当初予算額:634,292千円

① 健康づくりの推進

○ 介護予防・フレイル予防の推進

- ・ ⑧フレイル予防の実践や普及啓発イベントの実施
- ・ 民間活力を活用した介護予防の実施（ふくやまSHINKAプロジェクト）
- ・ フレイルチェック会の実施

○ 認知症対策の推進

- ・ ⑧認知症啓発映画の上映
- ・ ⑧親子向け認知症サポーター養成講座の実施（VRによる疑似体験）
- ・ 認知症ナビの簡易スクリーニング検査による早期発見・予防

② 社会参加の促進

○ デジタル技術の活用促進（デジタルデバイドの解消）

- ・ ⑧スマートフォンの購入支援・活用支援講習会の実施
- ・ ⑧高齢者向け情報の集約・発信（専用サイトによる発信）

○ 老人大学の魅力向上

- ・ 新たな講座開設による学びの充実

○ 補聴器の購入支援

③ 生活支援の充実

○ 高齢者等ごみ出し支援の本格実施

○ 移動支援の充実

- ・ 地域ボランティアによる外出・買物支援
- ・ オンデマンド乗合タクシー導入地区の拡大【再掲】



福山シティFCと連携した健康づくり



スマートフォンの使い方教室

3 都市の発展を支える基盤づくり

当初予算額:22,579,967千円

【一般会計分:7,036,269千円】

(国の補正予算に伴う前倒し分:約18億円)

(1) Rose Expo & 世界バラ会議福山大会の開催

当初予算額:390,145千円



Roses for the Future

～福山からはじまる、新しい未来～

みんなで創る みんなで盛り上げる みんなで輝く

① Rose Expo実施運営

○ ばらの魅力を国内外へ発信

- ・ 国際色豊かなローズガーデン、新品種のばらの展示
- ・ 国内外のばら苗、ばら関連商品の販売
- ・ 多世代が楽しめるイベントの開催
- ・ 福山の地域花壇のパネル展示



ばら関連商品



出展ブース

② 世界バラ会議福山大会実施運営

○ 大会開催による国際都市への飛躍

- ・ ユニークベニューを活用したプログラム
- ・ 市民交流（視察ツアー、商店街での交流会など）
- ・ MICE ボランティアの養成



おもてなしプログラム



MICEボランティアの活躍

MICE誘致の推進

都市ブランド力の向上

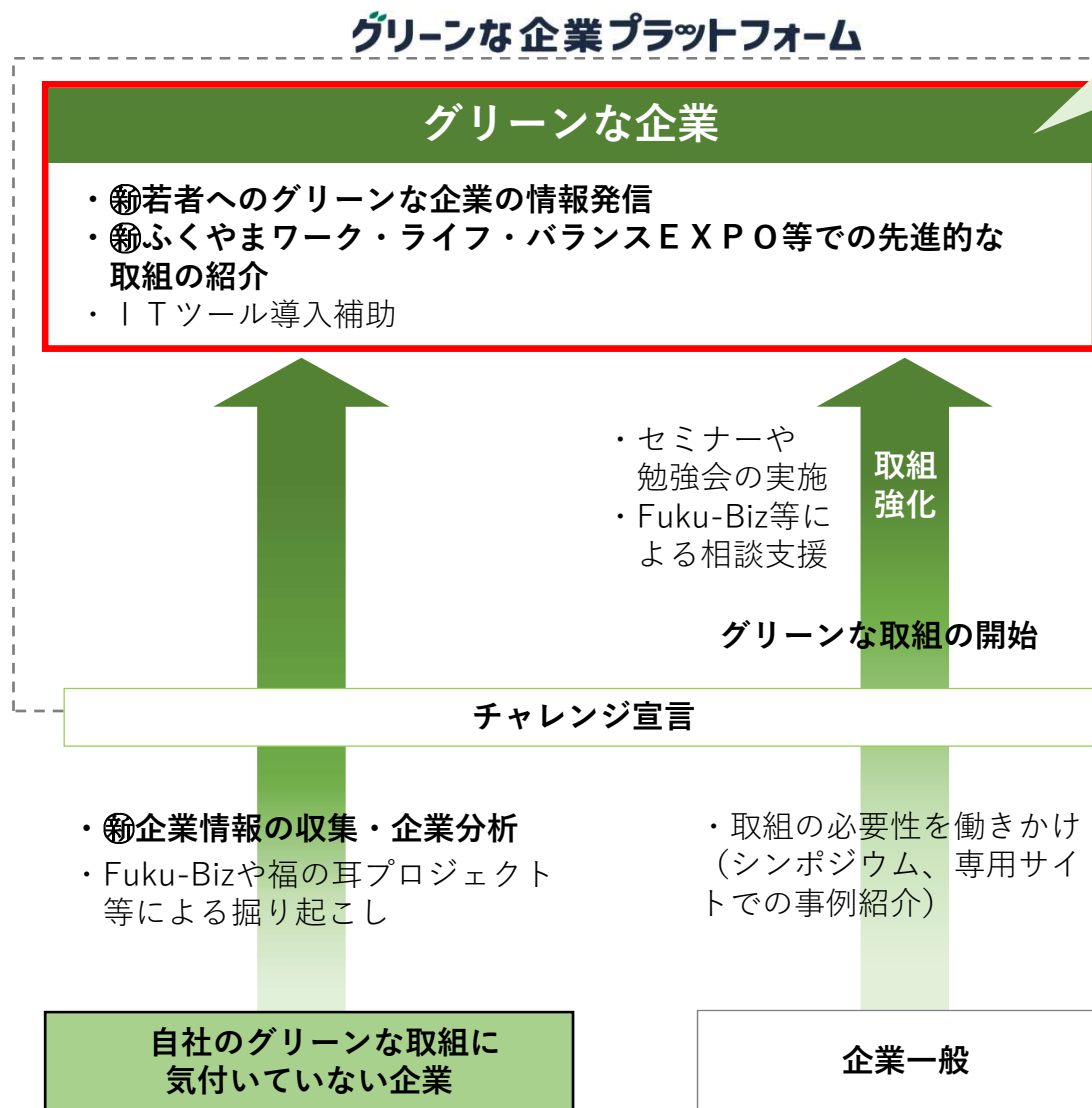
次世代への継承

(2) 備後圏域の産業の活力向上

当初予算額:348,466千円

① グリーンな企業の成長促進

○ グリーンな取組への支援の充実



グリーンな企業になると

- ・ ブランドイメージの向上
- ・ 生産性向上による業績アップ
- ・ 働きたい人の増加



【支援策の事例】

(環境への配慮)

- ・ CO2排出量見える化システム等の導入支援

(働きやすい職場環境の整備)

- ・ 仕事と介護・育児の両立(Wケア)支援の推進
- ・ 男性の育児休業取得を推進した企業への奨励金の支給

(女性・障がい者・高齢者等の雇用促進)

- ・ 女性雇用を促進する職場環境整備の支援
- ・ 障がい者雇用の促進と安定を図る奨励金の支給

② 人手不足解消に向けた支援

○ 市内企業の採用活動の支援

- ・ ④ U I J ターン就職の促進に向けた学生の就職活動費の支援【再掲】
- ・ ④ バス乗務員への就労支援金の支給【再掲】
- ・ シニア世代を対象とした合同企業説明会の実施
- ・ 高校生及び保護者向けの企業・職業説明会の実施【再掲】

○ 外国人材の活躍促進

- ・ ④ (仮称) 外国人材活躍推進協議会の設立
(外国人労働者の日本語学習や生活に関する支援体制等を産学官で議論)
- ・ ④ 外国人市民のニーズに沿った日本語学習の在り方検討【再掲】



Fuku-Bizによる相談支援

③ 企業の事業拡大と誘致促進

○ 企業の販路拡大と起業・創業の支援

- ・ ④ 福の耳プロジェクト第3弾の始動 (Fuku-Bizとの連携強化)
- ・ ④ 服飾専門学校生等に対する繊維産地の情報発信
- ・ ④ 備中備後ジャパニウムプロジェクト10周年記念事業の実施
- ・ ④ エフピコR i Mの利用フロア拡大に向けた検討【再掲】
- ・ 福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizによる起業・創業支援

○ 企業誘致の促進【再掲】

- ・ 地域未来投資促進法による重点促進区域内への産業用地の創出
- ・ 新たな産業団地の検討に向けた概略調査



エフピコR i M

④ 農林水産業の振興

○ 生産性の向上と担い手の確保

- ・ ④新規就農者に対する経営支援
- ・ ④一次産業に従事する東京23区からの移住者への支援
- ・ 先端技術の導入等による生産性向上支援

○ 販路拡大とブランド化の推進

- ・ 福山地方卸売市場の再整備支援（建設工事、2028年度整備完了予定）
- ・ 備後フィッシュフェス & 備後福山ワインフェスの実施
- ・ 道の駅アリストぬまくまの再整備（基本計画策定）【再掲】

○ 有害鳥獣対策の強化

- ・ ニホンザルの群れの捕獲
- ・ イノシシの市街地出没対策

○ 海洋環境の改善【再掲】

- ・ ④漁場保全緊急対策の推進（藻場保全やアイゴ等の対策への支援）
- ・ 海底耕うん・かき殻散布
- ・ ブルーカーボン事業詳細調査



備後フィッシュフェス



かき殻散布

⑤ 戦略的な観光振興

- 観光振興基本戦略の策定・推進
- 観光資源の発掘と磨き上げ・発信
 - ・ 観光列車（etSETOra、はなあかり）を活用した誘客促進
 - ・ 備後圏域の地域資源を活用したツアー造成
 - ・ ガーデンツーリズムの推進
 - ・ ナイトタイムエコノミーの推進（城泊、専用サイトによる発信など）
- インバウンド観光の受入れ促進
 - ・ 大阪・関西万博会場における観光PR動画の放映
 - ・ 多言語に対応したデジタル観光マップの運用
 - ・ 宿泊を伴う団体旅行への支援
- Rose Expo実施運営【再掲】
- 世界バラ会議を通じた観光振興【再掲】
 - ・ プレ・ポストツアー、デイツアーの実施



観光列車 etSETOra



(3) 都市基盤の整備

当初予算額:1,197,851千円

① 道路や港湾の整備・機能強化

○ 幹線道路網の整備促進

- ・ ④今津高西線の整備（概略設計）
- ・ 福山道路・福山沼隈道路等の整備促進
- ・ 期成同盟会による要望活動
（福山道路の未事業化区間と神辺水呑線の新規事業化）

○ 福山港の機能強化（箕島地区岸壁）

- ・ 2025年度暫定供用開始

② 企業誘致・投資の促進

○ 企業立地の促進

- ・ ④エフピコ R i Mの利用フロア拡大に向けた検討
- ・ 地域未来投資促進法による重点促進区域内への産業用地の創出
- ・ 新たな産業団地の検討に向けた概略調査

③ 福山港内港地区の埋立てに向けた取組

○ 国の調査結果を踏まえた事業スキームの検討



福山道路 18

④ 福山駅周辺のにぎわい再生

○ ウォーカブルなまちづくりの推進

- ・ 福山駅前広場再整備に向けた検討（アンケートの実施など）
- ・ 福山駅周辺への駐輪場（天満屋南側116台）の整備（駅南北に整備予定の思いやり駐輪場21台も含めると137台を確保）
- ・ 丸之内公園の再整備（噴水工事など、2026年度整備完了予定）
- ・ ナイトタイムエコノミーの推進【再掲】
- ・ 商店街の活力向上に向けた支援
- ・ 路上喫煙防止対策

福山駅周辺



エフピコアリーナ、かわまち広場、みらい創造ゾーン、
（仮称）まちづくり支援拠点施設、（仮称）子ども未来館

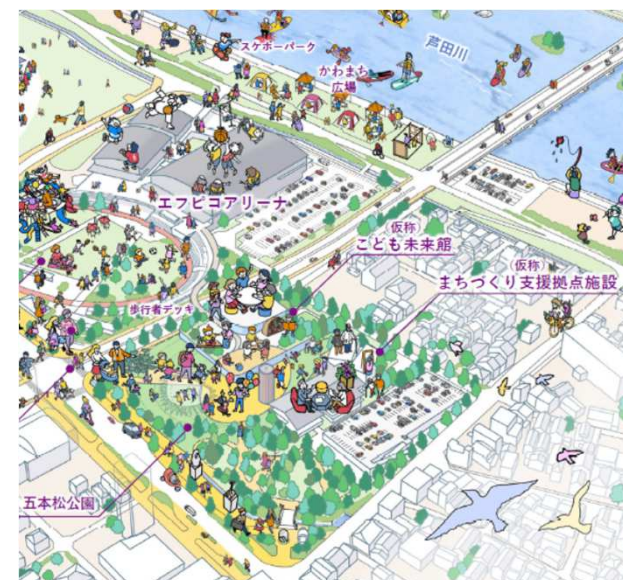


2027年度のレベル4の実装に向けた自動運転実証実験の実施

⑤ 全世代交流型の新たなエリアの創造

○ 健康・スポーツ・レジャー・防災・交流・教育・福祉の各機能を集積

- ・ 子ども未来館プロジェクトの推進【再掲】
- ・ （仮称）まちづくり支援拠点施設の整備【再掲】
- ・ 老人大学の魅力向上【再掲】
- ・ 自動運転の実証実験（福山駅前とエフピコアリーナふくやま間）【再掲】
- ・ エリアビジョンの策定に向けた検討



エリア全体の将来イメージ
（（仮称）子ども未来館や駐車場の配置等は検討中）

(4) 安心・安全で快適な生活環境の整備

当初予算額:20,211,344千円

① 災害に強い都市づくり

○ 避難所等の環境整備

- ・ 基幹緊急避難場所となる学校体育館（24校）等の空調整備（2026年度整備完了予定）
- ・ 屋外用移動式冷却機や医療機器対応蓄電装置等の整備
- ・ 孤立可能性集落の支援体制の構築（衛星携帯電話等の配備）

○ 豪雨への備え

- ・ 防災重点ため池（53か所）の遠隔監視システム整備
- ・ 蔵王雨水幹線の整備（2025年度暫定貯留開始）
- ・ 蔵王ポンプ場の整備（2027年度整備完了予定）
- ・ 千田ポンプ場、森脇ポンプ場等の整備
- ・ 谷地川の改修、水路整備
- ・ マンホール蓋の吹き上げ防止対策

○ 地震対策の推進

- ・ ため池の耐震対策（熊野貯水池など）
- ・ 住宅の耐震診断や耐震改修等への支援

○ 地域防災力の強化

- ・ 消防団装備の充実
- ・ 外国人市民向け多言語防災講座の実施

② 暮らしの安心を守る事故防止と防犯対策の強化

○ 日常生活に潜む危険への対応

- ・ 水路等転落事故防止対策（転落防止柵の設置など、2027年度対策完了予定）
- ・ 路面標示3か年集中対策（区画線や法定外表示など、2025年度対策完了）
- ・ 特殊詐欺対策（機器購入支援など）



蔵王雨水幹線



③ 質の高い医療の実現

○ 福山市民病院の機能強化

- ・ 新本館建設工事など（2032年度整備完了予定）
- ・ 周産期母子医療センター開設に向けた医療機器等整備【再掲】

○ 医療人材の確保・育成

- ・ 看護師等養成所の教育環境の整備支援
- ・ 社会人看護学生に対する学費等の支援（入学金、授業料、教材費など）
- ・ 小・中学生向けの看護体験や高校生向けの進路相談会の実施

○ 救急医療対策の強化

- ・ 救急病院の救急患者の受入れ促進
- ・ 救急相談窓口 # 7 1 1 9 （24時間365日対応可能）による支援

④ 誰もが安心できる福祉の充実

○ 重層的支援体制の強化

- ・ 専門人材の増員による困難課題への対応強化
- ・ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの拡充による支援の強化

○ 障がい福祉サービスの提供体制の強化

- ・ 障がい福祉サービス等事業所の人材の確保・育成支援
（資格取得のための研修費の支援）
- ・ 緊急時の支援体制の整備
（介護者急病時の一時受入れなど）

○ 生活困窮世帯等への支援

- ・ 住まいに関する相談支援の強化（相談支援員の配置、転居費用の支援）
- ・ 就労相談支援員等による自立に向けた支援
- ・ 生活困窮世帯等のこどもへの支援（登校や学習）



福山市民病院新本館完成イメージ



孤独・孤立に関する支援

⑤ 移動手段の確保

○ バス共創プラットフォームを通じた公共交通の再構築

- ・ ④バス乗務員への就労支援金の支給
- ・ ④バス事業者の経営改善に向けた補助制度の創設
- ・ ④新規路線の運行等の実証実験

○ 新たな移動手段の導入

- ・ 自動運転の実証実験（福山駅前とエフピコアリーナふくやま間）
- ・ オンデマンド乗合タクシー導入地区の拡大

○ 高齢者の移動支援

- ・ バス・タクシー等のおでかけ乗車券の交付
- ・ 地域ボランティアによる外出・買物支援【再掲】



自動運転実験用車両

⑥ 脱炭素社会の推進

○ 行政の脱炭素化の推進

- ・ 公共施設照明設備のLED化
- ・ PPAモデルによる太陽光発電設備の導入（北部市民センター）
- ・ 公用車への電気自動車の導入

○ 地域・企業の脱炭素化の推進

- ・ 家庭や事業者の創エネ・省エネ設備等の導入支援
- ・ 福山港カーボンニュートラルポートの形成促進
- ・ ブルーカーボン事業詳細調査【再掲】
- ・ CO₂排出量見える化システム等の導入支援【再掲】

PPA：発電事業者が、企業・自治体の土地や建物に太陽光発電設備を設置し、
発電した電気を企業・自治体に売電する事業モデル



PPAモデルにより導入した太陽光発電設備

(5) 歴史・文化、スポーツによるにぎわいづくり

当初予算額:432,161千円

① 歴史・文化資源の保存・活用と芸術活動の推進

○ 文化財の次世代への継承

- ・ 国宝化の機運醸成に向けたシンポジウムの実施
(伏見櫓、筋鉄御門、吉備津神社本殿、沼名前神社能舞台)
- ・ 伏見櫓の調査 (京都伏見城からの移転経緯など)
- ・ 歴史的建造物国宝指定期成同盟会による要望活動
- ・ 福山市の文化財登録制度の創設【再掲】

○ 芸術・文化の体験機会の提供

- ・ ふくやま美術館の改修 (基本構想の策定、2030年度整備完了予定)
- ・ ばらのまちふくやま国際音楽祭、オーケストラ福山定期の実施



② スポーツに親しめる環境の充実

○ スポーツに触れ合う機会の提供

- ・ 全国高等学校総合体育大会の開催
(水泳(飛込)、テニス、少林寺拳法、ローイング)
- ・ JOCオリンピック教室の実施
- ・ プロスポーツ団体による地域貢献活動(サッカー教室など)

○ スポーツを通じた共生社会への理解促進

- ・ パラアスリートによる研修の実施



Ⅲ 分野横断的に推進する取組

※これまでに掲載した施策も含む

1 備後圏域の連携強化

当初予算額:15,863,309千円

中小企業支援や医療提供体制の確保などの充実に加え、資源循環による地域経済の活性化など新たな取組にも挑戦し、「豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域」の実現をめざす。

第3期びんご圏域ビジョン スタート

(2025年度～2029年度)

経済

当初予算額:187,860千円

- 企業の販路拡大と起業・創業支援
 - ・福山ビジネスサポートセンター Fuku-Biz による起業・創業支援
- 広域観光の推進
- 有害鳥獣対策の強化
 - ・ニホンザルの生態調査
- 若者の地元定着促進
 - ・U I J ターン就職の促進に向けた学生の就職活動費の支援
 - ・びんごクリエイターズラボの開催

都市機能

当初予算額:13,152,244千円

- 医療人材の確保
 - ・看護学生地元就職支援セミナーの開催
 - ・大学や県と連携した医師の確保
- 公立病院の連携強化
 - ・診療支援や産科セミオープンシステムの充実
- 幹線道路の整備促進
 - ・期成同盟会による要望活動

住民サービス

当初予算額:2,523,205千円

- 保育サービスの充実
 - ・保育施設の広域利用の実施
 - ・ベビーシッター派遣型の病児・病後児保育の拡充検討
- 災害時の対応力強化
 - ・緊急時連絡網の整備
- 日本語の学習機会の充実
 - ・外国人市民のニーズに沿った日本語学習の在り方検討

Pick
UP

資源循環による地域経済の活性化

「資源循環・地域資源・脱炭素」 モデル構築事業

- ・下水汚泥から回収した「リン」とバイオ炭で肥料や堆肥を生産し、圏域内で活用
- ・バイオ炭由来の肥料を田畑に使用することで農地へ炭素が貯留され、圏域の脱炭素化を実現

2 デジタル化の推進

当初予算額:1,381,742千円

新たなデジタル戦略（2025年度～2030年度）に基づき、「誰もが、デジタルの恩恵を享受できる都市 ふくやま」の実現に向け、公共・民間の様々なサービスの高度化を始め、利用者が時間や場所の制約なく利用できる環境の整備などに取り組む。

(1) 市民サービス・デジタル化支援

当初予算額:489,933千円

○ サービスの創出

- ・ 高齢者のデジタル技術の活用促進
（スマートフォンの購入支援・活用支援講習会の実施など）
- ・ びんごデジタルラボの実施（中小企業のデジタル化支援）
- ・ 地域のデジタル化に向けた研修会の実施



(2) 分野横断サービス(共通化)

当初予算額:304,435千円

○ 広報・問合せ手段の充実

- ・ 窓口用字幕表示パネルの試験導入
- ・ AIチャットボットによる問合せ対応

○ 行政手続・処理の共通化

- ・ スマートロック・公共施設予約サービスの導入施設の拡大
- ・ マイナンバーカード認証アプリによる各種オンライン通知

○ 移動関連サービスの充実

- ・ 利便性の高いデジタルマップの提供
- ・ 自動運転の実証実験

○ デジタル化による子育て家庭の負担軽減

- ・ 相談予約や手続のオンライン化の拡大

(3) 庁内環境・体制の整備

当初予算額:587,374千円

○ 業務の高度化・効率化

- ・ システム開発が可能なツールの導入
- ・ プロジェクト管理ツールのライセンス拡大
- ・ 生成AIの活用

